

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 日阪製作所

上場取引所 東大

コード番号 6247 URL <http://www.hisaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 壽憲

問合せ先責任者 (役職名) 管理部統括部長

(氏名) 小西 康司

TEL 06-6201-3532

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,914	—	781	—	939	—	433	—
20年3月期第1四半期	6,437	16.6	1,040	68.5	1,233	53.0	668	42.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	13.34	—
20年3月期第1四半期	20.54	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第1四半期	59,799	—	40,350	—	67.5	1,241.48	—	
20年3月期	58,402	—	39,996	—	68.5	1,230.35	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 40,350百万円 20年3月期 39,996百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	15,380	—	2,172	—	2,372	—	1,450	—	44.61
通期	33,000	13.0	5,000	8.3	5,400	6.3	3,300	47.1	101.53

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 32,732,800株 20年3月期 32,732,800株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 230,993株 20年3月期 224,849株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 32,506,757株 20年3月期第1四半期 32,536,132株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

・当第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期財務諸表等規則」により四半期財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、原油価格や原材料の高騰によるインフレ懸念、米国におけるサブプライムローン問題を背景とした金融不安に回復の兆しが見えないなど、予断を許さない状況にあります。

このような経済環境の中、当第1四半期における当社の業績は、引き続き熱交換器部門の好調さに牽引され、概ね計画通りでの推移となりました。ただ、生活産業機器部門の食品関連は前期から投資意欲が戻り基調となっていたものの、原材料の高騰や冷凍餃子問題などで投資意欲が削がれる形となり、未だ当部門の業績回復には至っておりません。

以上の結果、当第1四半期の業績は、受注高 9,272 百万円（前年同四半期比 84.1%）、売上高 5,914 百万円（同 91.9%）、営業利益 781 百万円（同 75.1%）、経常利益 939 百万円（同 76.2%）、四半期純利益 433 百万円（同 64.9%）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 当第1四半期末における財政状態の状況

当第1四半期末における各貸借対照表項目の増減要因は次のとおりです。

##### (資産)

資産は 59,799 百万円となりました。これは仕掛品等のたな卸資産 2,017 百万円、投資有価証券 799 百万円の増加等により、前事業年度末に比べ 1,396 百万円増加しております。

##### (負債)

負債は 19,449 百万円となりました。法人税等の支払や賞与支給等による減少要因があったものの、仕入債務の増加 622 百万円や設備投資による短期借入金 1,246 百万円の増加等により、前事業年度末に比べ 1,042 百万円増加しております。

##### (純資産)

純資産は 40,350 百万円となりました。配当の支払 487 百万円があったものの、四半期純利益 433 百万円及びその他有価証券評価差額金 481 百万円の増加等により、前事業年度末に比べ 354 百万円増加しております。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税引前四半期純利益や売上債権の減少、短期借入金の増加等の収入が、たな卸資産の増加や法人税等の支払、固定資産の取得等による支出を上回り、前事業年度末に比べ 384 百万円増加し、当第1四半期末では 454 百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第1四半期において得られた資金は 948 百万円となりました。これは主に仕掛品等のたな卸資産の増加や法人税等の支払等による支出があったものの、税引前四半期純利益や売上債権の減少等による収入があったことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第1四半期において支出した資金は 1,308 百万円となりました。これは主に鴻池事業所における固定資産取得の支出によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第1四半期において得られた資金は 744 百万円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね当初計画の想定範囲内（計画比 90%以上 110%未満）で推移しております。第2四半期では大型プラント案件の売上などによる計画通りの業績を想定しているため、2009年3月期の第2四半期累計期間並びに通期の業績予想につきましては、業績予想を修正しておりません。

しかしながら、金融市場の情勢如何では有価証券評価損が純利益に影響する可能性があることから、今後の金融市場等の動向を慎重に見極めるとともに、他方今後の受注動向如何では第4四半期で売上・営業利益が上振れる可能性もあり、業績予想につき修正する必要がある場合は速

やかにお知らせいたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第1四半期末の一般債権に係る貸倒引当金は、前事業年度末に算定した貸倒実績率等から著しい変化がないため、前事業年度末の貸倒実績率等を用いて算定しております。

###### ②棚卸資産の評価方法

当第1四半期末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを実施しております。

###### ③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

###### ④経過勘定項目の算定方法

一部の費用については、合理的な算定方法による概算額で計上しております。

###### ⑤税金費用の算定方法

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ①四半期財務諸表に関する会計基準

当第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期財務諸表等規則」により四半期財務諸表を作成しております。

###### ②たな卸資産の評価に関する会計基準

当第1四半期より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用しております。なお、この変更による財務諸表への影響はありません。

##### (追加情報)

当事業年度より、平成20年度法人税法改正に伴い、機械及び装置の耐用年数について法人税法改正後の法定耐用年数へ変更しておりますが、この変更による財務諸表への影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	454,626	70,607
受取手形及び売掛金	9,520,852	11,001,497
製品	74,794	57,224
半製品	2,374,295	2,171,268
原材料	5,839,219	5,795,984
仕掛品	3,460,018	1,694,967
貯蔵品	106,352	117,740
繰延税金資産	595,224	819,398
その他	1,192,429	1,561,284
貸倒引当金	△20,000	△20,000
流動資産合計	23,597,812	23,269,973
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,742,566	11,562,935
機械及び装置（純額）	4,052,622	3,922,533
その他（純額）	1,944,483	1,969,350
有形固定資産合計	17,739,671	17,454,818
無形固定資産		
ソフトウェア	127,767	119,252
その他	—	1,523
無形固定資産合計	127,767	120,776
投資その他の資産		
投資有価証券	16,100,408	15,300,426
その他	2,271,447	2,291,464
貸倒引当金	△37,583	△34,596
投資その他の資産合計	18,334,272	17,557,295
固定資産合計	36,201,712	35,132,890
資産合計	59,799,524	58,402,864

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,264,393	6,641,416
短期借入金	6,600,000	5,354,000
未払法人税等	31,408	782,826
引当金	378,446	892,900
その他	4,668,287	4,532,393
流動負債合計	18,942,535	18,203,537
固定負債		
繰延税金負債	407,898	103,036
その他	98,642	100,226
固定負債合計	506,540	203,262
負債合計	19,449,075	18,406,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,000	4,150,000
資本剰余金	8,814,450	8,814,450
利益剰余金	26,594,869	26,648,951
自己株式	△213,399	△199,306
株主資本合計	39,345,920	39,414,095
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,001,535	520,209
繰延ヘッジ損益	2,993	61,758
評価・換算差額等合計	1,004,528	581,968
純資産合計	40,350,448	39,996,063
負債純資産合計	59,799,524	58,402,864

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	5,914,125
売上原価	4,313,015
売上総利益	1,601,109
販売費及び一般管理費	819,674
営業利益	781,435
営業外収益	
受取利息	60,995
受取配当金	115,729
有価証券売却益	2,660
その他	9,868
営業外収益合計	189,254
営業外費用	
支払利息	12,060
休止固定資産維持費用	17,582
その他	1,960
営業外費用合計	31,602
経常利益	939,087
特別損失	
固定資産除却損	150,456
新工場竣工式典費用	46,402
特別損失合計	196,859
税引前四半期純利益	742,227
法人税、住民税及び事業税	58,000
法人税等調整額	250,690
法人税等合計	308,690
四半期純利益	433,536

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	742,227
減価償却費	521,628
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,987
引当金の増減額 (△は減少)	△514,454
受取利息及び受取配当金	△176,725
支払利息	12,060
為替差損益 (△は益)	△368
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,660
固定資産除却損	150,456
売上債権の増減額 (△は増加)	1,480,644
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,017,493
仕入債務の増減額 (△は減少)	622,976
その他	726,593
小計	1,547,873
利息及び配当金の受取額	176,725
利息の支払額	△12,060
法人税等の支払額	△764,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	948,119
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
固定資産の取得による支出	△1,173,854
投資有価証券の取得による支出	△8,232
投資有価証券の売却による収入	3,487
短期貸付金の増減額 (△は増加)	33,000
その他	△163,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,308,756
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,246,000
自己株式の取得による支出	△14,093
配当金の支払額	△487,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	744,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	384,019
現金及び現金同等物の期首残高	70,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	454,626

当第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期財務諸表等規則」により四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報

部門別売上高明細表

(単位:百万円未満切捨て)

項目	前第1四半期 平成19年4月～平成19年6月		当第1四半期 平成20年4月～平成20年6月		(参考)前事業年度 平成19年4月～平成20年3月	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
熱交換器	( 1,200 ) 4,139	( 18.6 % ) 64.3	( 514 ) 3,902	( 8.7 % ) 66.0	( 3,348 ) 17,855	( 11.5 % ) 61.2
生活産業機器	( 237 ) 1,356	( 3.7 ) 21.1	( 306 ) 1,231	( 5.2 ) 20.8	( 1,111 ) 7,728	( 3.8 ) 26.5
バルブ	( 88 ) 941	( 1.4 ) 14.6	( 138 ) 779	( 2.3 ) 13.2	( 345 ) 3,606	( 1.2 ) 12.3
合計	( 1,526 ) 6,437	( 23.7 ) 100.0	( 958 ) 5,914	( 16.2 ) 100.0	( 4,805 ) 29,190	( 16.5 ) 100.0

(注) ( )内は輸出額で内書であります。

受注高及び受注残高

(単位:百万円未満切捨て)

項目	前第1四半期 平成19年4月～平成19年6月		当第1四半期 平成20年4月～平成20年6月		(参考)前事業年度 平成19年4月～平成20年3月		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
受注高	熱交換器	( 1,687 ) 8,485	( 15.3 % ) 76.9	( 2,218 ) 6,219	( 23.9 % ) 67.1	( 4,632 ) 22,454	( 13.3 % ) 64.8
	生活産業機器	( 139 ) 1,582	( 1.3 ) 14.4	( 476 ) 2,076	( 5.2 ) 22.4	( 1,097 ) 8,609	( 3.2 ) 24.8
	バルブ	( 78 ) 961	( 0.7 ) 8.7	( 156 ) 976	( 1.7 ) 10.5	( 481 ) 3,588	( 1.4 ) 10.4
	合計	( 1,905 ) 11,029	( 17.3 ) 100.0	( 2,852 ) 9,272	( 30.8 ) 100.0	( 6,211 ) 34,652	( 17.9 ) 100.0
受注残高	熱交換器	( 8,999 ) 21,980	( 35.6 ) 87.0	( 11,500 ) 24,550	( 39.0 ) 83.2	( 9,796 ) 22,232	( 37.5 ) 85.0
	生活産業機器	( 139 ) 2,529	( 0.6 ) 10.0	( 394 ) 4,028	( 1.3 ) 13.7	( 224 ) 3,184	( 0.8 ) 12.2
	バルブ	( 109 ) 763	( 0.4 ) 3.0	( 273 ) 923	( 0.9 ) 3.1	( 255 ) 726	( 1.0 ) 2.8
	合計	( 9,248 ) 25,273	( 36.6 ) 100.0	( 12,168 ) 29,502	( 41.2 ) 100.0	( 10,275 ) 26,143	( 39.3 ) 100.0

(注) ( )内は輸出額で内書であります。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円未満切捨て)

科 目	前年同四半期
	(平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
売上高	6,437,987
売上原価	4,558,010
売上総利益	1,879,976
販売費及び一般管理費	839,030
営業利益	1,040,946
営業外収益	194,968
営業外費用	2,765
経常利益	1,233,149
特別利益	-
特別損失	60,019
税引前四半期(当期)純利益	1,173,130
法人税、住民税及び事業税	190,000
法人税等調整額	314,937
四半期(当期)純利益	668,192

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨て)

区 分	前年同四半期
	(平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期(当期)純利益	1,173,130
減価償却費	251,883
役員退職引当金の増減額(減少：)	-
その他引当金の純増減額	471,843
受取利息及び受取配当金	189,921
固定資産除売却損	60,019
売上債権の増減額(増加：)	246,548
たな卸資産の増減額(増加：)	1,169,338
仕入債務の増減額(減少：)	306,948
その他	138,158
小 計	345,585
法人税等の支払額	1,212,427
その他	180,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	686,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	500,000
固定資産の取得による支出	1,253,056
投資有価証券の取得による支出	505,152
投資有価証券の売却による収入	-
貸付金の純増減額(増加：)	66,000
その他	68,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,392,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	164,116
自己株式の取得による支出	5,699
自己株式の売却による収入	-
配当金の支払額	455,523
財務活動によるキャッシュ・フロー	297,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	107
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	2,375,586
現金及び現金同等物期首残高	3,346,782
現金及び現金同等物期末残高	971,195